

令和7年度 第6回タウンミーティング

能美ライオンズクラブとのタウンミーティング

日 時 令和7年10月21日（火）18:15～18:55

会 場 八松苑

参加人数 31人

1) 開会

2) 市長 市政報告

○市内の状況

- ・北陸新幹線が県内全線開業し、市内にも新幹線が走るようになったが、能美市には新幹線の駅がないので残念である。
- ・能美根上スマートインターチェンジの利用率が大変好調である。
- ・新しくできた加賀海浜産業道路沿線の福島グランパーク内には、多くの企業が進出しており、戦略的企業誘致により女性が多く働く企業もある。また、敷地内に民営化の第1号の福島こども園があるほか、今後、総合商業施設もできる予定である。
- ・幼児教育の要望や園舎の老朽化を受け、保育園民営化に取り組んでいる。これまで15あった公営保育園のうち、まず福島保育園を民営化した。続いて今月と来月に民営化した湯野こども園とわかばみどりこども園の新園舎が完成予定であり、福岡こども園についても民営化を進めている。

○令和7年度予算編成方針

- ・事業・施策の7本柱が全て移住・定住の促進につながるように取り組んでいる。
- ・能美市では、自然動態がマイナスになっているが、社会動態がそれをカバーし、今、人口が微増している。

- ・合計特殊出生率が全国や石川県で下がっている一方、能美市は伸びている。1人でも多く赤ちゃんを授かりたいと市民に思ってもらえるように環境を整備していかなくてはならない。また、健康寿命をいかに延ばすかということも重要である。高齢化率は今26.4%であり、100歳以上の方が現在43人いらっしゃる。内訳は、男性が4名、女性が39名である。
- ・市税が大変好調で、令和元年に初めて90億円を超え、昨年度も90億円を越えた。この要因として、企業誘致や地元産業の好調があげられ、固定資産税や法人市民税、市民税が增收となっている。

○防災減災対策の強化

- ・地震被害想定に基づいて、避難所の設置や避難物資の備蓄を行っているが、今年の5月に公表された新想定では、避難者数がこれまでの想定の約3倍にあたる約5,600人に変更となった。避難物資の数を増やすだけでなく、能登半島地震の教訓を生かし、内容の見直しを行うとともに、避難所の在り方を検討している。

○知名度・魅力度の向上

- ・20周年を記念して、2月1日に懸垂幕を掲げるとともに市内小中学校で2日間にわたりお祝い給食を出した。2月8日には、記念式典と記念コンサートを行い、その翌日に記念イベントを実施した。
- ・3月15日にIRいしかわ鉄道の快速が20年ぶりに走り、記念式典を行った。能美市に快速電車が停車し、大変嬉しく思っている。
- ・今年は北陸鉄道能美線が開業して100年、廃線になって45年という節目の年であり、能美電で走っていた電車をイメージしたデザインのバスを導入した。子どもたちに大人気であり、市内の15保育園に新車両の巡回訪問を行った。
- ・20周年記念事業として、8月に行ったNHKのラジオ体操の収録では、1,400人もの人が集まり、主催者からお褒めの言葉をいただいた。能美市は市民力、地域力が本当に高く、ありがたい。
- ・これまで辰口、寺井、根上の3会場で敬老会を行ってきたが、出席者がだんだん少なくなったため、各町会・町内会に切り替え、周年のときは大きく開催することとしていた。今年がその周年の年であり、加賀山さん親子や一川明宏さんを講師にお招きしタントで開催した。生の民謡や三味線の披露に満員の会場が大変盛り上がった。

- ・中学生を対象に先輩が話をする「ようこそ先輩」を本日開催し、講師を落語家の桂空治さんに務めてもらった。大変面白い話だったので、ぜひ機会があれば、ライオンズクラブでも呼んでいただければと思う。また、今日は和気の岩ドッグランリニューアルオープン日でもあった。犬が遊ぶ場所を従来の約3倍の大きさに広げるとともに、小型犬と中・大型犬のエリアを分けた。犬の水飲み場や、トイレスペース等も設置した。たくさんの犬が完成式典に来ており、大変喜んでいただいた。
- ・能美電跡の健康ロードを5年かけて整備しており、来週リニューアルするので、ウォーキングイベントを計画している。朝9時に天狗山駅跡をスタートして、能美根上駅まで歩くので、時間がある方はぜひご参加いただきたい。各駅跡には看板を設置し、周辺施設やウォーキングコースの紹介をしている。
- ・10月26日になんでも鑑定団の収録を行う。多くの方から鑑定依頼の申込みがあった。
- ・ゆかりのプロミュージシャンによるコンサートで20周年事業の最後を締めくくりたいと考えている。
- ・能美根上駅の活性化として、のみでん広場にある車両を能美根上駅に移設し、無人のコンビニとして利用したり、旧駅員室をカフェにして、そこで働く人たちに駅利用者のサポートをしてもらったりしようと計画している。また、ホームに看板広告を設置する予定であり、広告主の募集を始める。
- ・辰口フラワーhaus跡地に道の駅的な機能を持った商業施設を造ろうと3年前から計画しているが、物価高騰等でなかなか進んでいなかった。今年度、整備検討委員会を作り、建設に向けて検討を進めている。

○持続可能な行財政改革

- ・市内の公民館や体育館等が老朽化しており、改修に莫大な費用がかかるので、財源確保が課題である。また、市内には小中学校が11あるがどれも大変古く、その中でも一番古い、浜小学校と根上中学校に初めに取り掛かりたいと思っているが、莫大な財源が必要となる。建て直しには時間がかかるので、まずは安全・安心、おいしい給食を提供するため、学校給食センターを新しく造った。
- ・人事院勧告により、市役所職員の手当も上がっている。財源確保のため、ペーパーレスやフリーアドレスに取り組み、3年間で約1,700万円の経済効果が出ている。また、能美市誕生20周年という節目に抜本的に経費削減に取り組むため、全ての事業、施策を見直す

べく、タスクフォースチームを立ち上げた。

3) 質疑応答、意見交換

質問・意見

【参加者】平成17年に能美市が誕生した。令和17年にはどうなっているのか聞きたい。

【市長】そのときに私が市長をしているかという問題があり、なかなか具体的な話はできないが、老朽化していく施設をどう建て直していくかということが挙げられる。また、先ほどの話の中では触れられなかったが、水害時にも災害対策本部が支障なく開けるように地下にある電気設備を1階に移すため、本庁舎に防災・機能強化施設の建築を計画している。それに伴って、市内のいろいろな公共施設も整理をしていく必要がある。能美市立病院も老朽化していることから、在り方検討委員会を立ち上げ、新しく病院を建てるのか、他の手立てがあるのか検討を重ねてもらっている。

全体を通して考えると、老朽化した施設や生活インフラの改修がこの10年間の一番の課題になるとを考えている。

4) 閉会